

スーパーバイザー研修修了者はスーパービジョンについてどう考え、何をしているか
—アンケート調査自由記述の質的分析—

日本福祉大学 山口みほ (002554)

キーワード： スーパービジョン スーパーバイザー 研修

1. 研究目的

近年、ソーシャルワーカーの職能団体等において、スーパーバイザー養成の研修が実施されるようになった。しかし、研修の受講が必ずしもスーパービジョンの実施にむすびついていない実態がある（注）。

そこで、研修修了者のスーパービジョンに関する認識や取り組みの現状を明らかにし、スーパービジョンの実施の促進要因と阻害要因を考察することを目的として、研修受講後に実施したアンケート調査の自由記述の質的分析を行った。

2. 研究の視点および方法

スーパービジョンの概念・定義・実施形態は多様に存在する。そこで今回は、①ソーシャルワーカーがソーシャルワーカーに対して行う、②スーパーバイザー—スーパーバイザー関係が明確な、③コンサルテーションやカンファレンスとは区別された、④計画的・継続的な個別スーパービジョンに限定し、その限定条件の理解がなされているスーパーバイザー研修修了者を対象に実施したスーパービジョンに関するアンケート調査の自由記述を分析対象とした。

1) 分析対象

2009年から2013年に日本医療社会福祉協会、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、尾張スーパービジョン研究会などが主催し、報告者らが講師をつとめたスーパービジョン講座及び研修会の参加者（219名）に2013年11月に実施したアンケート調査の回収分112票のうち、記載のあった75名分の自由記述を対象とした。

2) 分析方法

SCATによる質的分析を行った。

なお、コーディングの精密さを担保するため、記述の読み込み、キーワードの抽出、語句の言い換え、説明概念、テーマ・構成概念の作成の各ステップの見直しを繰り返し行い、アンケート調査の共同研究者からも随時チェックを受けた。

3. 倫理的配慮

本研究は日本社会福祉学会の研究倫理指針を遵守して実施した。具体的には以下のよう
な配慮を行っている。1) 調査対象者に対して文書で回答の自由について明記し示した。

2) 調査対象者が受講したスーパービジョン講座及び研修の主催者である日本医療社会福祉協会、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、尾張スーパービジョン研究会に対して調査目的や内容などを文書で示し承認を得た。3) アンケート調査全体についての共同研究者の所属機関である金城学院大学の倫理委員会の承認を得た。

4. 研究結果

75名の自由記述から、合計148の「テーマ・構成概念」のコードを作成し、共通点・類似点のあるものを集めて15のカテゴリー（以下の「 」）にまとめ、ストーリーラインを記述した（以下、ストーリーラインの概要）。

研修修了者は「スーパービジョンの効果」を認め、「必要性の認識」は強いが、その多くが時間やマンパワーの余裕がない等、環境面や力量においてスーパービジョンの「実施の困難性」を感じ、未実施であり、「実施に向けた課題」をあげている。また、「職場内・職場外の特徴」により、困難さも異なっていた。スーパービジョン未実施の場合、部下・後輩に対し、罪障感を抱くソーシャルワーカーもいた。

一方、スーパービジョンは未実施であるが、事例検討会やOJT等により「補完・代替」を行っている施設は多くある。また、「意欲」を表明し、自身の力量をあげる取り組みや職場環境の整備に着手するなど、スーパービジョン体制を「準備中」であったり、業務化の課題等、既に実施しているが故の「実施上の課題」を見出しているソーシャルワーカーもいる。

体験の有無に関わらず、スーパーバイザーとなる前提として「スーパーバイザー体験の重視」の傾向があり、スーパービジョンを受けたいというニーズが高い。また、「良いスーパーバイザー像」を目指し、「研修ニーズ」も高いが、現状の「スーパービジョン教育への不満」があり、ソーシャルワーカー団体や研究者に対しての環境整備やシステム作りについての「期待」が示された。

5. 考察

ソーシャルワーカーの文化としてスーパービジョンがあたりまえに行われるようになるためには、まだ数多くのクリアすべきハードルがあることが示された。研修を受けただけではすぐにスーパーバイザーとしてのスーパービジョン実践の開始に至らない要因は、研修修了者の個人的な要素よりも環境的な要因が大きいと考えられる。スーパーバイザーとしての発達段階に応じた研修が身近な地域で受けられるしくみづくりや、職場の理解の促進等、ソーシャルワーカーの組織的努力とそれに助力できる教育・研究が求められている。

（注）浅野正嗣・山口みほ「保健・医療領域のソーシャルワーク・スーパービジョンの現状」『医療と福祉49巻2号』、2016年3月、p64・p73